



三月は 去る月と いわれるようですね。 半週に  
初音を聞き “下手くそと いいながら クスクス笑  
た覚えがありますが 今や素晴らしい 鳴き声 を毎  
披露、それも目と鼻の先。 お洗たく物を干しながら突にい  
い気分です。 二階の部屋から 外を見ますと またまた 裸の  
立木と 枯れ草の中にも 水仙の花だけが 元気に咲いてい  
ます。 梅が ようやく 8分咲きになりました。 春の訪れを感  
じた二月から ゆるやかな歩みの中で 三月も 終ろうと  
しています。 というか 終わりました

深沢の長崎さん姉弟の

準備前焼の窯出し情報

三月二日(土) に窯出しがありました 今長崎さん宅  
には 今年の新作が スラリと 並んでいます。 今年  
室内を 今までの広さより 小さくしたので その分しかり  
りと火がまわり 作品も よく焼けて 見るからに  
力強い 堂々とした 仕上がりになっています。 ぜひ  
深沢に足を お運びいただいたりたく お知らせ致します。

スイス、バーゼルに お住いの 荒岡様。 ご自身は青森  
で 年に一回 奥様の ロースマリーさんと 来日されますが 我家  
訪問をされ、その足で 日本のお建物を 見ておける旅を 楽しんで  
いららっしゃる 建築家のご夫妻で 石馬允に 昨年、おととし  
お泊り下さいました。 お返禮に 日韓若手音楽家育成 を やって  
いららっしゃる 野川さん、<sup>マコト</sup>バーゼル在住の方で 川澤征爾さんと 親  
交の深い方の方で “ぜひ 大鹿村で コンサート”。 素晴らしい  
処だから” という 勧め (おふた方からの) が あつたので。 というこ  
とで 大鹿村交流センターで <sup>(男)</sup>佐伯 力 がある若手演奏家 3人の  
コンサートが 実現しました。 <sup>(女性)</sup>ピアノ、<sup>(男性)</sup>バイオリン、<sup>(女性)</sup>テノール、<sup>(女性)</sup>1人  
1人の 音かともきれいで 息が 通つたり。 若いのに、 すごい  
演奏旅行が 続いているのに 本当に 大したものです。 今立  
派な演奏家になって また 私たちの目の前に 立て下つること  
間違いないと 石馬允の 忘れ草に しかりサインを  
していただきました。 明るくて キーキーと 笑う 素敵な方たちで  
した。 20日 富山に 向けて 出発しました。

三月半は 過ぎて 石馬允と ようやく お客様の 訪れがある  
ようになりましたが それまでの間 二人の息子たちは 竹を切り開き  
その木くずを 燃やしたり 柵をつくらしたりの 作業をして いました。  
そして お返禮に 作った 1匹の 猫。 恐い目つき だけど 心を通い  
合うように なつたら 丸いかわいらしい 目つきに なり 今や  
足元で びくびく返って じやいぶおちには なり、 それぞれが 好き  
な名で 呼ぶ しほらくの 時間を 楽しんで います。  
犬と猫と 可愛らしさに 変りは ない どの子なのかな  
はじめて 知ることです。